

令和6年6月20日
農 林 水 産 部

報道機関各位

令和6年度 田んぼダム研修会の開催

このことについて、下記のとおり研修会を開催いたしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

近年、豪雨災害が激甚化・頻発化している状況を踏まえ、国と県では河川流域のすべての関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進し、県内各地で水害を軽減させる対策が進められています。県では、その取組みの一環として、水田の雨水貯留機能を活用して洪水の流出時間を遅らせる「田んぼダム」を推進しています。

当研修会は、梅雨期を迎えるこの時期に、流域治水に関係する県内の関係団体等が一堂に会し、最新の情報を提供し、豪雨災害に対応する流域治水の推進を図るとともに、田んぼダムの取組みの拡大を狙うものです。

令和2年7月豪雨時の最上川の氾濫（河北町吉田から望む）



（田んぼダムとは）

水田に雨水が貯留される機能を活用し、水田の排水口に流出量を抑制する調整板などを設置することで、水田から時間をかけて雨水を排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えて、下流域の湛水被害リスクを低減する取組み。

1 日 時 令和6年6月26日(水) 13:30～15:30

2 場 所 山形県高度技術研究開発センター多目的ホール
(山形市松栄二丁目2-1)

3 研修内容

(1) 流域治水の取り組み

山形河川国道事務所 流域治水課長 今野 浩一 氏

国で進めている最上川流域治水を例として、流域治水に関する基礎を学びます。

(2) 氾濫シミュレーション調査と田んぼダムの中山間地域での取り組みについて

新潟大学農学部 助教 宮津 進 氏

山形県内で実施している、田んぼダムの効果をパソコン上でシミュレーションした事例と、県内で課題となっている中山間地域での取り組みを学びます。

(3) 山形県の田んぼダムの取り組みについて

農林水産部農村整備課

令和4年度から進めている山形県田んぼダム推進情報連絡会の取り組みと、県が田んぼダムに関して調査した結果について報告します。

4 対象者

田んぼダム推進情報連絡会構成員、県、市町村、土地改良区、山形県土地改良事業団体連合会の職員

5 その他 会場内に記者席を用意しますので御利用ください。



【問合せ先】 農村整備課 担当：農村防災・災害対策主幹
長岡 禎智 電話 023-630-2157
報道監 農林水産部次長 高橋 和博